

親知らずのトラブル 迷わず歯医者さんへ行こう！

永久歯は、12歳ごろに上下28本が生え揃います。そのあと14～5歳ごろから「親知らず」(第三大臼歯)が一番奥に生えてきます。この歯は、親の手を離れた年齢になってから生えてくるので「親知らず」、また知恵がついた年頃になってから生えるので「智歯」、と呼ばれています。

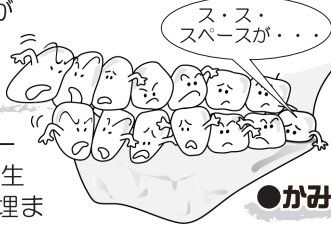
親知らずの生え方には個人差があり、上下4本全部生える方からまったく生えてこない方で様々です。中には先天的に歯の元である歯胚がない方もいます。これは、現代の軟らかい食生活によってあごの骨が十分に発達しないため、歯がきれいに並ぶスペースができないからだといわれています。

ところでこの親知らず、生え方や周囲の歯との関係で周りの歯肉に炎症(智歯周囲炎)をおこすことがあります。親知らずがトラブルメーカーに変身したときは、迷わず歯医者さんを受診してください。



●前の歯を圧迫すると

親知らずは絶えず前に位置する第二大臼歯を圧迫します。その力の影響で、全体の歯並びが悪くなる可能性があります。



●きちんと生えていないと

親知らずはもともとスペースのないところに無理に生えてくるので、傾いたり埋まっていたり半分だけ頭を出していたりします。汚れがたまりやすく、反対側の歯肉にあたることも多く炎症やむし歯が発生します。

●すっかり埋まっていると

原因がわからないまま歯肉に不快な感じがあるときは、埋伏歯が疑われます。



●かみ合わせが正しくないと

かみ合わせたとき親知らずが周囲の歯や歯肉とぶつかり、口が開けにくくなったり、顎がガクガクするなど、あごの関節に問題がおきます。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER 11 2005年 月号

秋の深まりとともに風邪をひく方が増え、予約の突然キャンセルが多くなっています。予約のキャンセルは、早めのご連絡をお願いします。キャンセルによって空いた時間を他の患者さんにおゆずりいただけますと、その患者さんの治療をさらに一歩進めることができます。ご連絡がないと、それも不可能になってしまいます。

当院では、難抜歯(外科が苦手な開業医ではしないような難しい抜歯)も積極的に行っています。しかし、個人差、症例差はありますが、親知らずの抜歯をした後で、腫れてしまうことがあります。特に下あごの親知らずが、歯肉の中に斜めに埋まった状態ではえていた場合など、抜歯後に腫れることが多々あります。難抜歯は大学病院で抜歯をしても、腫れるか腫れないかの結果に大差はありません。大学で抜歯をしても腫れたから、とあきらめがつくくらいです。

症例や患者様の都合によっては、日本大学歯学部附属歯科病院(お茶の水から徒歩)、日本大学松戸歯学部附属歯科病院(松戸からバス)にご紹介しております。抜歯のみならず、癌などの疑いのある方も、直接行かれるよりは紹介状持参で行かれた方がスムーズに診療してもらえます。お知り合いの方で大学付属病院への紹介を希望する方がいらっしゃいましたら、いつでもご一報下さい。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☆診療日変更のお知らせ☆

11月24日(木)診療します。 12月22日(木)診療します。
28日(水)午後休診します。
29日(木)～4日(水)年末年始の休診予定です。



☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>
ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp